2018始動 出る杭から「群を抜け。」

GIA実行委員長 田中 仁社長に聞く

群馬イノベーションアワード（GIA）は2013年に始まり、今年が6回目となる。エントリー総数、ファイナルステージへの来場者、協賛社は過去5回で大きく増加。注目度が高まるGIAの意義などについて、実行委員長の田中仁さんジンズ社長に尋ねた。

◆◇◆ GIAの5年の歩みを振り返ると。◆◇◆

―最初のころは「イノベーション」という言葉が一般的ではなかった。「なんだ大きく増加。注目度が高まるGIAの意義などについて、実行委員長の田中仁さんジンズ社長に尋ねた。

―最初のころは「イノベーション」という言葉が一般的ではなかった。「なんだ大きく増加。注目度が高まるGIAの意義などについて、実行委員長の田中仁さんジンズ社長に尋ねた。

―ションが社会にとって必要だったと。それは、というような学習会だった。それでも、イノベーションが社会にとって必要だったと。それは、というような学習会だった。それでも、イノベーションが社会にとって必要だったと。それは、というような学習会だった。それでも、イノベーションが社会にとって必要だったと。それは、というような学習会だった。それでも、イノベーションが社会にとって必要だったと。私の周りもそう気だった。私の周りもそう気だった。私の周りもそう気だった